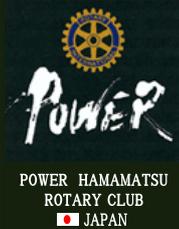


国際ロータリー第2620地区
静岡第5クラブ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

親睦と奉仕の扉へ

RI 会長 ホルガー・クナーク/第 2620 地区がバナー 志田洪顯 /会長 中野敬司 /幹事 村田誠
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



第855回例会6月15日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：鈴木孝尚 安間利広
- 点鐘：中野敬司
- 週報：内田勝善
- ロータリーソング：「それでこそロータリー」（※音楽のみ）
- ゲスト：米山記念奨学生 陳俊達さん

出席報告/スマイル報告

会員数 77 名 (内出席免除会員 1 名)
出席数 57 名 出席率 75%

スマイル

奥山恵理子さん 2 件
原田道子さん

会長挨拶



おはようございます。土曜日、有志 23 名により防潮堤の松の下草刈りをしました。参加された方、ありがとうございました。

さて先日、17 年前放映された「プロジェクト X 挑戦者たち」という DVD をみました。内容は「みどりの窓口」を扱ったものです。今では「みどりの窓口」で瞬時に発券される指定席券も、昭和 30 年代前半までは国鉄各駅から中央管理センターで台帳を確認してから発券する、という手作業で行われていました。乗客はその間、窓口で長時間待っていたようです。そして昭和 44 年、日立と同発した世界初のオンライン座席予約サービスでしたが、二重発券やシステムダウン、座席の配席ミスが重なりました。そうしたことから、受注側の日立と発注側の国鉄、両者間の溝が生じてきました。そんな状況を改善しようと国鉄総裁の了解のもと、国鉄の 20 代の社員 30 名を日立の管理者に預けられる事になりました。鉄道事業を知らない日立社員、逆に、プログラミングを知らない国鉄社員、それぞれが教えあい、プロジェクトとしてまとまっていきました。導入決定から 14 年が経ち、昭和 47 年 3 月システムがついに完成。このプロジェクトを牽引した両社の 2 人の課長さんはこの成功の原因を次のように述べています。「人間の集団であるから、理屈ではなく、皆の心がひとつになった事が原因である。」

つまり、異なる企業風土や業務にも拘わらず両社社員が心をひとつに協力しあったからこそ、現在の私たちには当然の存在である「みどりの窓口」というシステムが完成したのだと思います。彼等はロータリアンでも経営者でもありませんが、仕事に誇りを持った人たちによる、素晴らしい「職業奉仕」であると、私は思いました。以上で今朝の会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

土曜日に防潮堤の草刈りがあり、17 名の参加がありました

次回例会は退任あいさつです。役員・理事・部会長は準備をよろしくお願いいたします

本日本年度最後の役員会がありますので出席をお願いします

前年度地区大会での次の 4 つの表彰がありました

- ① 年次基金の一人当たりの寄付金額上位 3 クラブへの入賞
- ② エブリーロータリーエブリーイヤークラブ正会員一人当たりの 25 ドル以上の寄付
- ③ 100%ロータリー財団寄付クラブ正会員一人当たりの 100 ドル以上の寄付
- ④ 米山記念財団より寄付金 2 0 0 0 万円の達成

委員会報告

衆議院議員 塩谷立さん

コロナで様々な検討がされています。国民の皆様への理解・協力で頑張っています。コロナでこれまでとは違う課題が顕在化してきました。ピンチをチャンスにできるように政治家として頑張りたいと思います。



議 事

会員選考・クラブ研修委員会「新会員による自己紹介」



東海東京証券株式会社

浜松支店支店長 加藤 威さん

おはようございます。昨年 12 月に入会させて頂きました。加藤威と申します。

宜しくお願い致します。生年月日は昭和 48 年 3 月 15 日生まれの 48 才でございます。身長は無駄に背が高い 189 cm で、未だ伸びているかもしれません。靴のサイズは 29 cm で、専門店でないとう売っておりません。スポーツは野球、ハンドボール、ビーチバレー等をしておりましたが、この体格を活かせず、ハンドボールではゴールキーパーの控えをしていました。

出身は神奈川県横浜市南区という下町生まれの下町育ちです。趣味は読書、釣り、サイクリング、城めぐりです。

職業は東海東京証券の浜松支店で去年の 10 月から支店長に拝命しました。

証券会社に勤めて営業一筋、失敗だらけの 26 年間でしたが、お客様から数多く事を学びました。その中の一つで、営業面で心がけている座右の銘があります。それは「先義後利」という言葉です。先に義を果たす事で後から利が付いてくる。という意味です。現在 NHK 大河ドラマ渋沢栄一の教えである「論語と算盤」に通じるものがあると思いますし、まさに実感した 26 年間でした。

ロータリアンとして未熟者ではございますが今後とも宜しくお願い致します。ありがとうございました。



株式会社中日 NEXT 浜松支社

支社長 宇佐美 英尚さん

1 月に入会させていただきました、宇佐美英尚です。年齢は 48 歳、生まれは愛知県豊橋市で、母の実家が森町でしたので遠州地区には馴染みがあります。

現在は、中日 NEXT という中日新聞グループの広告会社で、主に新聞広告をはじめ広告全般の仕事を扱っています。名古屋に本社があり、中日ドラゴンズ球団との仕事も行っておりますので、シーズンオフには、選手やドラムのイベントなども手配できます。熱心なドラゴンズファンがいらっしゃいましたらお声掛けください。

入会に際し、奉仕の精神、奉仕活動のイメージがある中で、私の人生で奉仕にまつわることと言えば、小中学生の時のカブスカウト、ボーイスカウトでの活動でしょうか。当時は奉仕の意味も分からずに、街頭募金などに立つぐらいでしたが、見知らぬ人たちがこちらの声掛けに応じてくれるのがうれしかった思い出があります。

入会して、約半年ほどになります。

先日の防潮堤の草刈りでも感じたのですが、みなさんと一緒になって汗をかくのは、気持ち良いということです。新入会員だから参加しなきゃといった、奉仕の心とは程遠い気持ちから始まるのですが、その充実感、普段の生活では感じられないものです。ただ、この気持ちがいつまで継続するか分かりませんので、これ位にしたいと思います。

通勤途中にある、お寺の掲示板に書いてありました。

「豊かだから施すのではない

施すから豊かになるのだ」

この意味を体現できるようになればと思います。

今後ともよろしく願いいたします。



鶴泌尿器科クリニック

院長 鶴 信雄さん

初めまして、新入会員の鶴 信雄です。私は泌尿器科医ですので、泌尿器科と言う職業についてお話ししたいと思います。扱うのは腎臓、尿管、膀胱。男性の前立腺、精巣、陰茎などです。簡単に言うと、おちんちんとおしっここの科です。

診ている病気はがん、おしっこのトラブル、トイレが近いとか、もれてしまうとか。腎臓の病気で人工透析、腎移植も診ていましたし、開業してからは性病やこどものおねしょなども診るようになりました。男性の若はげやインポテンツも診ています。女性の方も尿失禁や骨盤臓器脱、つまり、膀胱や子宮が下がってくる病気です。

よく、なぜ泌尿器科を選んだのかと聞かれることがあります。考えていたのは整形外科と産婦人科、泌尿器科でした。6年生になると勧誘会に誘われました。整形外科は普通の居酒屋、産婦人科はおでん屋さん、泌尿器科はすし、カニ、しゃぶしゃぶと、おいしい物をたくさん食べさせてくれたのが決め手でした。半分冗談ですが、結局、熱心に誘ってくれたのが泌尿器科の楽しい先生でしたので入局しました。実際に入ってから、診る病気が幅広くて、驚くことばかりでした。1993年に医者になってから、28年が経ちました。県内の共立菊川病院(現菊川市立病院)、富士宮市立病院、遠州病院で勤務し、2002年に大学に戻ってから助教となり、医学博士を取りました。2006年に恩師の故鈴木和雄先生が立ち上げた磐田市の新都市クリニック(現新都市病院)の立ち上げに携わり、その後8年間、腹腔鏡の手術(前立腺がん、腎臓がんなど)ばかりやっていました。新都市クリニックは一時期、愛知県も含めた東海地区で一番手術件数が多い時期もありました。大学病院より数が多かったです。残念ながら、鈴木和雄先生は闘病の末、鬼籍に入りました。生前は良く一緒にラウンドさせていただいていましたが、それ以後、ゴルフはしていません。

大事な人を亡くしてしまったのですが、環境を変えたくなり、大学に戻ろうとか、東京の方で准教授のお誘いもありましたが、家族の反対で断念しました。2年後にすずかけセントラル病院で腹腔鏡手術センターを立ち上げに誘われたため、転勤。4年ほど勤めた後、2017年に南区三島町に泌尿器科に特化したクリニックを開業して、静岡県で唯一、日帰り前立腺肥大症手術をレーザーで行っています。前立腺がんもたくさん見つけています。

職員同士のパワハラ、モラハラ、訴える訴えないの騒ぎがあり、一時期、正職員がいなくなった時期もありましたが、半年前からようやく落ち着きました。きれいな女性を揃えていますので、皆さんいつでも遊びに来てください。

私の生まれは神戸で、育ちは福岡県久留米市。両親は京都にいます。家族は妻と子ども4人。上二人が娘で浜松北高の1,2年生。次の二人が男の子で付属の中一と城北小の小一。

男の子は和道場で柔道をしています。私は小中と剣道をしていました。高校はハンドボール部、浜松医大ではボート部に入り、佐鳴湖で毎朝練習していました。医者になってからほとんど運動していませんでしたが、40歳になる頃から走り始めて、フルマラソンを8回走

っています。コロナの影響で最近では運動不足です。高校生の頃は兵庫県西宮市に住んでいましたので、阪神タイガースのファンです。1985年の優勝が決まった試合は確か神宮球場だったと思いますが、甲子園球場に行くとファンが3000人ほど集まっていて、大騒ぎしていた記憶があります。タイガースファンというよりは、掛布のファンでしたので、今でも31番は私のお気に入りの数字です。

最後になりましたが、コロナのワクチン接種がどんどん進んでいて、集団接種会場も高齢者だけでは予約枠に空きが目立つようになっています。65歳未満の方で、基礎疾患を持っている方は来週6/23までにコロナ専用ダイヤルに連絡していただければ、優先的にクーポン券が発送されます。基礎疾患は高血圧、糖尿病、腎臓病、肝臓病、肥満などとなっていますが、いちいち確認作業をするとは思えないので、血圧高めの方は自己申告で問題ないと思います。このままワクチン接種が進んでいけば、1ヶ月後には景色が少し変わってくると思います。少し先が見えてきています。

以上、簡単な自己紹介でした。ロータリークラブに入ってまだ間もないので、右も左も分かりませんが、今後ともよろしく願いいたします。



オリックス株式会社 浜松支店

支店長 谷川 修一さん

オリックス浜松支店の谷川と申します。

この4月より責任者を拝命し、浜松にまいりました。せっかくいただいたスピーチの機会ですので、まずは仕事の内容よりも私がどんな人間であるかを知っていただければと思っておりますので、お付き合いください。

オリックスには、新卒で1998年に入社し、今期で24年目に突入いたしました。

金沢⇒仙台⇒東京⇒名古屋と、営業畑一筋で業務に携わってまいりましたが、浜松にくる前の4年間は、初めて管理部門に配属になり人事部におりました。そしてまたこの浜松で営業部門に復帰するができ、非常に楽しみにしております。

生まれ、育ちは埼玉県の川口市という街です。鋳物の製造が盛んなで吉永小百合さんが主演した「キューポラのある街」という映画の舞台にとなった街です。活気があり人がパワフルな街でした。

幼少時代から野球が大好きで、学生時代は野球一筋でした(オリックスという会社に勤めていながら、埼玉を本拠地とする西武ライオンズのファンではありませんが。。)

少年野球から始まり、プロ野球選手を目指し、甲子園の常連校に入学いたしました。各地から集まってくるレベルの高い選手たちに驚きました。結局大学まで野球を続けましたが、野球は学生で一区切りつけることとなります。

こうやって改めて自分自身の生い立ちを振り返ると、野球一筋だったなと感じます。ただスポーツから学ぶことというのは、今となってはすごく貴重な経験で、レギュラーを勝ち取るための競争に身を置き、対戦相手を上回るための戦略を考えて実行する、ということを繰り返したんだと思いますが、そこで感じたことは、評価を受けるためには、得意分野に特化するしかないのではないか？ということでした。

社会人になってもそれを実践してきましたし、その後、ビジネスの本などに触れる機会が増えていきましたが、ドラッカーなども同じこと（強みでしか何かを成し遂げることはできない）と話しており、こういうことが体感値としての積み上げが、スポーツのひとつの効果なんだと感じました。

色々お話させていただきましたが、自分もまだまだ強みを伸ばして成長していく必要がありますし、部下にも伝えていながら、良い組織を作っていきたいと考えています。そして、社会に地域に貢献することが、会社としても個人としても使命だと思っておりますので、お役に立てるように精進してまいりたいと思っております。

スマイル報告

①奥山恵理子さん

5月29・30日に、第21回日本早期認知症学会を開催させていただきました。Web会場とコンコルド浜松現地会場をしようしてのハイブリッド方式でした。認知症早期診断の決め手であるPET診断発祥の地・浜松から全国にむけて、認知症の早期発見と対応、認知症予防の最新情報を中心に配信させていただきました。楽器の社会貢献活動としての市民公開講座は、パワー浜松RC5周年記念事業の行使を務めてくださった山口はるやす先生に「ポジティブに生きることで認知症予防」をテーマに群馬県前橋市からご登壇いただきました。会場は厳密な感染予防対策を実施し、850名会場を145席にしました。感染拡大に配慮し、積極的な会場へのご案内を控えておりましたが、会場は満席、ウェブ会場は500名と実施しました。認知症の予防薬が米国で承認、日本も承認間近というニュースが出ている時期と重なり、認知症予防に関する話題が多く出されました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

②奥山恵理子さん

コロナ禍での感染予防対策を講じた安全な、会場使用の開催方法の実証ができました。学会開催は「不要不急か」をも考えましたが、コロナ禍の間の後の「高齢化社会における認知症予防の必要性」を考慮し、必要と考え実施しました。

学会は経済的には厳しいです。そこで、Web開催をいかに円滑に、経済的におこなうかを、考え実行してくださった(株)CPSの三枝さん、コロナ禍の大変な時期に、一緒に大会を作り上げていく事務局担当会社をお引き受けくださったヒューマンアローの坂神さん、

実行委員としてご協力くださった薬局フォーリアの曾布川さん、お目付け役としての学会幹事の坂井さん、はじめ経済支援、広報支援をくださったメンバーの皆様、そしてなにより参加くださった皆様に感謝いたします。

5周年記念事業をはじめ、パワー浜松RCの諸行事で学ばせていただきました力をこめて開催しました。

現在、同様の方式で講演会、学会が開催されていますが、全国から、浜松の技術力の高さにお褒めの言葉が届いております。

本当にありがとうございました。まだまだコロナ禍における事業開催は必要であると思います。今回培った体験を、これからのパワーの活動にお返ししたくもっております。ありがとうございました。

③原田道子さん

(静岡県ニュービジネス協議会 西部部会長)

静岡県ニュービジネスフォーラムイン浜松が今年の10月20日にアクトコンgresセンターで開催されます。その中で大きなイベントとして「静岡県ニュービジネス大賞の応募の募集期間が今月6月1日から7月31日」の2か月間となります。今年は(株)トーカイホルディングの10周年の副賞として大賞は賞金30万円、特別賞として賞金10万円が出ます。また今年の4月に設立されたトーカイのベンチャーキャピタルに投資案件として推薦していただけるようです。また大賞と特賞の方は全国大会の出場権が得られます。やらまいか精神のある方、新しいビジネスをやり始めた方は是非ご応募くださいますようお願いいたします。私は企画と大賞のペーパー審査とヒヤリング審査の審査委員です。

